

WHC教育プログラム一覧

日本助産実践能力推進協議会 作成

助産師に求められるウィズヘルズケア能力と教育プログラム(日本看護協会出版会・助産師業務要覧Ⅱ実践編P144)

テーマ	目標	サブテーマ	研修目標	教育項目
I 女性のライフサイクルの観点から対象理解	・女性のライフサイクルの観点から、女性の成長に伴う身体、精神と社会的機能状況から対象を理解する	1. 思春期の対象理解 2. 成熟期の対象理解 3. 更年期の対象理解 4. 老年期の対象理解 5. ライフステージを通じた対象理解 6. ライフステージを通じた対象理解 7. ライフステージを通じた対象理解 8. ライフステージを通じた対象理解 9. ライフステージを通じた対象理解	・女性のライフサイクルの観点から、各期の支援に必要な知識を理解する ・女性とその家族の発達段階のアセスメントと各期における対象を理解する ・女性のライフサイクル特有の問題に関する自身の健康への自覚と管理に向けた啓発活動と評価について理解する ・女性のライフサイクル特有の問題に関する自身の健康への自覚と管理に向けた啓発活動と評価について理解する ・女性特有の疾患のアセスメント、支援と評価について理解する	・思春期の身体的特徴(第2次徴、月経等) ・思春期を取り巻く社会的機能と問題(生活基盤、飲酒・喫煙・ドラッグ・摂食障害、若年妊娠、若年者の性感染症、デートDV等) ・中高年期女性の身体的特徴(循環器系、呼吸器系、消化器系、代謝系、性腺、内分泌系、皮膚・骨筋系等) ・成熟期を取り巻く社会的機能と問題(生活基盤、家族役割の変化、就職、妊娠、出産、育児、子どもを持たない/持たない、DV等) ・更年期女性の身体的特徴(感覚機能、皮膚、姿勢・運動器、女性性器、排泄等) ・更年期女性を取り巻く社会的機能と問題(家族役割の変化、喪失体験と適応、介護等) ・老年期女性の身体的特徴(5覚の変化、性器脱、高脂血症、骨粗鬆症、子宮がん、乳がん等) ・老年期を取り巻く社会的機能と問題(身体的衰えへの自己認識と適応、喪失体験、孤独と孤立、不安、死との直面等) ・女性特有の疾患、婦人科疾患とそれに伴う医療的、福祉的、地域的資源と介入 ・医療資源、福祉資源、地域資源、法律や制度 ・ジェンダーと女性の生活基盤、生活リズムの変化 ・自己の健康自覚、健康管理、健康増進(ヘルスプロモーション) ・男女相互の生理、人権尊重、パートナーシップ、性感染症の予防、DV ・生命の成り立ち、妊娠のメカニズム、出産、育児、生命倫理
II 家族計画の支援	・家族計画の立案と実施に向けた女性とパートナーの身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援と評価について理解する	1. 家族計画の支援に必要な知識 2. 家族計画の支援に必要な知識 3. 家族計画の支援に必要な知識 4. 家族計画の支援に必要な知識 5. 家族計画の支援に必要な知識 6. 家族計画の支援に必要な知識 7. 家族計画の支援に必要な知識 8. 家族計画の支援に必要な知識	・家族計画の支援に必要な知識を理解する ・家族計画に向けた啓発活動と評価について理解する	・家族計画(妊娠、分娩、育児に向けた調整等) ・受胎調整実施指導員(リプロヘルス・サポーター) ・健康的な家庭・生活運営に必要な基盤 ・親となる準備(身体的、心理的、社会的、経済的、文化的・宗教的側面) ・家族計画に関連する問題(若年妊娠、高年妊娠、望まない妊娠、人工中絶等) ・避妊法(基礎体温法、オギノ式、排卵自覚法、膈錠、ペッサリー法、女性用・男性用コンドーム法、IUD法、経口避妊薬、緊急避妊法、避妊手術等) ・人工妊娠中絶(適応、方法、動向、母体の身体的・精神的影響、法律等) ・性と生殖に関する教育の現状 ・医療資源、福祉資源、地域資源、法律や制度(例:にんしんSOS)
III 不妊、不育の悩みをもつ女性への支援	・不妊、不育状況にある女性とパートナーの身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援と評価について理解する	1. 不妊、不育の悩みをもつ女性の支援に必要な知識 2. 不妊、不育の悩みをもつ女性の支援に必要な知識 3. 不妊、不育の悩みをもつ女性の支援に必要な知識 4. 不妊、不育の悩みをもつ女性の支援に必要な知識	・不妊、不育の悩みをもつ女性の支援に必要な知識を理解する ・不妊、不育の啓発活動と評価について理解する	・不妊・不育症に関連する生殖系系の形態・機能、病態、検査・診断・治療(医学的支援に限らずそれらに伴う苦痛(経済、時間)、有効性(成功率、限界と見通し)等) ・生殖医療の動向、リスクマネジメント、倫理、法律、ケアの裏付けとなる関連概念・理論(危機理論、喪失理論、セルフケア理論、エンパワーメント、ストレスコーピング、意思決定理論、家族関係理論、発達理論等) ・不妊・不育に関連する社会資源(経済的支援、セルフヘルプグループ、ピアサポート等)、法律・制度(例:不妊専門相談センター事業) ・里親、養子縁組制度
IV 性感染症への支援	・性感染症に罹患している女性とパートナーの身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援と評価について理解する	1. 性感染症の支援に必要な知識 2. 性感染症の支援に必要な知識 3. 性感染症の支援に必要な知識 4. 性感染症の支援に必要な知識 5. 性感染症の支援に必要な知識 6. 性感染症の支援に必要な知識	・性感染症の支援に必要な知識を理解する ・性感染症と予防の啓発活動と評価について理解する	・性感染症の病態、症状、検査・診断・治療、予後 ・性感染症の動向 ・性感染症の身体的・心理的・社会的影響 ・性感染症の妊娠・出産への影響 ・性感染症の感染経路(性暴力、母子感染等含む) ・性感染症の予防(感染予防、再発予防、回復予防、1次、2次、3次、ワクチン等)、感染拡大等 ・性感染症に関連する社会資源、制度
V 月経異常や月経障害等の支援 (更年期を含む)	・月経異常や月経障害等をもつ女性の身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援と評価について理解する	1. 月経異常や月経障害等の支援に必要な知識 2. 月経異常や月経障害等の支援に必要な知識 3. 月経異常や月経障害等の支援に必要な知識	・月経異常や月経障害等の支援(更年期を含む)に必要な知識を理解する ・月経異常や月経障害等の啓発活動と評価について理解する	・月経異常や月経障害等の生理、病態、症状、検査・診断・治療、予後 ・月経異常や月経障害等の身体的・心理的・社会的影響 ・月経異常や月経障害等の症状改善に向けた日常生活面からの支援
VI 女性に対する暴力予防の支援	・女性に対する暴力に関する身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援と評価について理解する	1. 女性に対する暴力予防の支援に必要な知識 2. 女性に対する暴力予防の支援に必要な知識 3. 女性に対する暴力予防の支援に必要な知識 4. 女性に対する暴力予防の支援に必要な知識 5. 女性に対する暴力予防の支援に必要な知識	・女性に対する暴力予防の支援に必要な知識を理解する ・女性に対する暴力と予防に関する啓発活動と評価について理解する	・女性に対する暴力のリスク要因と暴力が起こる病理 ・女性に対する暴力の早期発見、発見時の対応、予防 ・女性に対する暴力による、身体的・社会的影響 ・女性に対する暴力の相談と支援に関する技術、医療的・社会的資源と活用(例:性暴力被害者支援ワンストップセンター) ・女性に対する暴力に関する法律と制度
VII 予期せぬ妊娠をした女性の支援	・予期せぬ妊娠をした女性の身体、精神と社会的機能状況のアセスメント、支援と評価について理解する	1. 予期せぬ妊娠をした女性の支援に必要な知識 2. 予期せぬ妊娠をした女性の支援に必要な知識 3. 予期せぬ妊娠をした女性の支援に必要な知識 4. 予期せぬ妊娠をした女性の支援に必要な知識 5. 予期せぬ妊娠をした女性の支援に必要な知識 6. 予期せぬ妊娠をした女性の支援に必要な知識	・予期せぬ妊娠をした女性の支援に必要な知識を理解する ・予期せぬ妊娠に関する啓発活動と評価について理解する	・予期せぬ妊娠とは(例:思いがけない妊娠、望まない妊娠、高齢妊娠等) ・予期せぬ妊娠がもたらす女性とパートナーへの身体的・社会的影響 ・予期せぬ妊娠がもたらす社会現象(例:虐待等) ・予期せぬ妊娠に関連する意思決定 ・予期せぬ妊娠をした女性への支援に関する技術、医療的・社会的資源と活用(例:女性健康支援センター事業) ・医療資源、福祉資源、地域資源、法律や制度(例:にんしんSOS) ・里親、養子縁組制度
VIII 多様な性の支援	・多様な性に関する身体、精神、社会的機能状況のアセスメント、支援と評価について理解する	1. 多様な性の支援に必要な知識 2. 多様な性の支援に必要な知識 3. 多様な性の支援に必要な知識	・多様な性の支援に必要な知識を理解する ・多様な性に関する啓発活動と評価について理解する	・多様な性の基本的知識(性同一性障害を含むLGBTQI(トランスジェンダー、同性愛、両性愛、異性愛、インターセックス等)) ・多様な性による身体的・社会機能的影響 ・多様な性の社会的動向 ・多様な性の相談と支援に関する技術、医療的・社会的資源の活用
IX 産前・産後以外のメンタルヘルスケア	・女性の性周期や身体、社会的機能や役割の変化に伴うメンタルヘルスに関するアセスメント、支援と評価について理解する	1. 産前・産後以外のメンタルヘルスケアに必要な知識 2. 産前・産後以外のメンタルヘルスケアに必要な知識 3. 産前・産後以外のメンタルヘルスケアに必要な知識 4. 産前・産後以外のメンタルヘルスケアに必要な知識 5. 産前・産後以外のメンタルヘルスケアに必要な知識	・産前・産後以外のメンタルヘルスケアに必要な知識を理解する ・女性のメンタルヘルスに関する啓発活動と評価について理解する	・女性のライフサイクルに伴う身体、精神、社会的動向とメンタルヘルスへの影響 ・メンタルヘルスの兆候、発症のメカニズム、症状、予後等の理解 ・女性に高頻発するメンタルヘルス(摂食障害、アディクション、更年期のうつ等) ・メンタルヘルスの早期発見、予防方法とツールの理解と活用 ・メンタルヘルスに関する法律と地域資源の把握と活用
X 産前・産後のメンタルヘルスケア	・妊娠、出産、育児に関連する女性の性周期、身体、精神、社会的機能や役割の変化に伴うメンタルヘルスに関するアセスメント、支援と評価について理解する	1. 産前・産後のメンタルヘルスケアに必要な知識 2. 産前・産後のメンタルヘルスケアに必要な知識 3. 産前・産後のメンタルヘルスケアに必要な知識 4. 産前・産後のメンタルヘルスケアに必要な知識	・産前・産後のメンタルヘルスケアに必要な知識を理解する ・産前・産後の支援に関する啓発活動と評価について理解する	・周産期のホルモン動態や家族役割・社会的機能の変化に伴うメンタルヘルスの生理、病態、症状、治療、予後等 ・妊娠、出産、育児期におけるメンタルヘルスによる弊害(子どもへの愛着障害、虐待等) ・妊娠、出産、育児期におけるメンタルヘルスの早期発見、予防方法とツールの理解と活用 ・妊娠、出産、育児期におけるメンタルヘルスに関する地域資源の把握と活用
XI 妊娠期から子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防の支援	・胎児を含む子どもの虐待に関するアセスメント、支援と評価について理解する	1. 妊娠期から子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防に必要な知識 2. 妊娠期から子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防に必要な知識 3. 妊娠期から子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防に必要な知識 4. 妊娠期から子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防に必要な知識 5. 妊娠期から子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防に必要な知識 6. 妊娠期から子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防に必要な知識 7. 妊娠期から子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防に必要な知識 8. 妊娠期から子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防に必要な知識	・妊娠期からの子育て支援による胎児を含む子どもの虐待予防の支援に必要な知識を理解する ・胎児を含む子どもの虐待の予防、発見と支援に関する啓発活動と評価について理解する	・子ども(胎児含む)の虐待のタイプ(身体的、性的、ネグレクト) ・子ども(胎児含む)の虐待のリスク要因(母親の妊娠過程(歴)、生育歴(両親含む)、生活状況等) ・虐待による影響(不自然な怪我(痣、骨折、SBS等)、身体的発達状況、表現や言動、親子関係の状況等) ・虐待疑い・発見時の対応 ・虐待の対応に関する医療的・社会的資源(児童相談所、保健センター、保健所、市役所等)の活用 ・虐待に関連する法律と制度 ・子ども(胎児含む)の虐待の動向 ・虐待に関する相談の支援(相談窓口、電話、母親のネットワークづくり等) ・虐待の対応に関する地域の母子保健事業や協議会
XII 妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援	・妊娠期から育児期において特に支援を要する(特定妊婦や虐待予防の支援を要する等)母親とその家族のアセスメント、支援と評価について理解する	1. 妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援 2. 妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援 3. 妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援 4. 妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援 5. 妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援	・妊娠期から育児期において支援を必要とする母親とその家族の支援に必要な知識を理解する ・妊娠期から育児期における母親とその家族の支援に関する啓発活動と評価について理解する	・妊娠期から育児期に支援を要する母親の身体的、社会的機能 ・妊娠期から育児期に支援を要する母親の家庭、生活基盤 ・妊娠期から育児期に支援を要する母親のリスク要因(生活状況、妊娠経過、パーソナリティ、家族歴、特定妊婦等)、早期発見、予防と支援方法 ・育児状況の動向(育てにくさ等) ・妊娠期から育児期の相談と支援に関する技術、医療的・社会的資源と活用